報道関係者各位

2026 年 3 月 27 日
株式会社セキュア

監視カメラのハッキングリスク低減と IoT セキュリティの見える化を推進

IPA 運用の JC-STAR（セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度）適合ラベルを取得した IDIS 製機器を導入開始

「AI（画像解析）×セキュリティ」で企業の課題解決のためのビジネスソリューションを提供する株式会社セキュア（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：谷口 辰成、証券コード：4264、以下「セキュア」）は、監視カメラのハッキング対策を強化し、IoT セキュリティの見える化を推進するために、独立行政法人情報処理推進機構（Information technology Promotion Agency, Japan: IPA）運用の JC-STAR（セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度）適合ラベルを取得した IDIS 製機器の導入を開始したことをお知らせします。

■背景と課題

近年、ネットワークに接続されたカメラが不正アクセスの標的となり、映像のインターネット上への流出や、内部ネットワークへの侵入被害が社会問題化しています。こうした問題に対し、従来は、ID・パスワードの設定や公開範囲の限定といった対策が中心でした。
一方で、監視カメラを含む IoT 機器は、一般的に長期運用を前提としているため、設置後に脆弱性が発見されるリスクは避けられません。また「調達時にサポート期限・アップデート方針・脆弱性窓口が確認しにくい」「機器間で基準がバラバラで比較・選定に時間がかかる」ことから、安全性を適切に比較・判断することが難しく、結果として機器の停止や侵害、情報漏えい等が顕在化しやすい構造となっています。

■JC-STAR による対策

先述の課題を解決するための対策の一つとして、セキュアは IPA が運用する JC-STAR の適合ラベルを取得した IDIS 製機器を活用し始めました。以前より正規ディストリビューターとして IDIS 製品を扱ってきた中、IDIS が JC-STAR 適合ラベルを取得したため、定められたセキュリティ要件に適合した製品をお客様にご提供できるようになりました。
JC-STAR は、IoT 製品の適合基準（セキュリティ技術要件）への適合性を評価・可視化する制度です。欧州電気通信標準化機構(ETSI)が策定した ETSI EN 303 645 やアメリカ国立標準技術研

究所(NIST)が発行した NISTIR 8425 など国内外の規格とも調和しつつ、インターネットと通信する幅広い IoT 製品を対象に、共通的な物差しで製品のセキュリティ機能を評価・可視化することを目的としています。

■今後の展開

セキュアの監視カメラソリューションは、さまざまな規格に対応しており、異なる規格のカメラ、録画装置を統合して監視することが可能です。従来のアナログカメラとネットワークカメラなど異なる世代、メーカーのカメラであっても一元化したシステムとして管理することができます。今後はこれに加え、JC-STAR 適合製品の活用を通じて、セキュリティ要件への適合が可視化された機器選定を推進してまいります。

■参考情報

IDIS CCTV SYSTEM　オンプレタイプ監視カメラソリューション

https://secureinc.co.jp/solution/eye/idiscctvsystem.html

■セキュアについて

会社名　：　株式会社セキュア

所在地　：　〒163-0220　東京都新宿区西新宿二丁目 6 番 1 号　新宿住友ビル 20 階

代表者　：　代表取締役社長　谷口 辰成

設　立　：　2002 年 10 月 16 日

URL　：　https://secureinc.co.jp/

「AI×セキュリティで新しい価値を創る」をビジョンに掲げ、入退室管理システムや監視カメラシステムに、AI（画像認識）技術を掛け合わせた付加価値の高いセキュリティソリューションを提供しています。顔認証による入退室管理システムでは、数量ベースにおいて 2020 年以降連続してマーケットシェア No.1 を獲得。中小から大手企業まで過去 13,000 社以上の導入実績があり、性能・コスト・安定性を考慮したシステムの設計や設置環境までの最適化をサポート。あらゆる空間の安心・安全と最適なソリューションをご提案します。

＜報道関係者からのお問合せ先＞

株式会社セキュア　広報担当：栢菅（かやすが）・谷村（やむら）

お問合せフォーム：　https://form-gw.hm-f.jp/hai2form/b13bc8ba-a97b-42b7-9103-66766c95482f